

危険物新聞

第 5 8 7 号

発行所 財団法人 大阪府危険物安全協会

編集人 宮 崎 正 也
発行人

大阪市西区新町1丁目5番7号

四つ橋ビル

TEL 06(6531) 9 7 1 7・5 9 1 0

定価 1部 60円

年次大会開催

11月7日、KKRホテルオオサカで



挨拶をされる三好治雄理事長

(財)大阪府危険物安全協会では、平成14年度年次大会を11月7日(木)、大阪市中央区のKKRホテルオオサカにおいて開催しました。

当日は特別来賓をはじめ、府下各消防本部消防長、予防課長をお招きし、府下各協会長、事務局長等約160名のご出席をいただきました。

大会は三好理事長の挨拶で始まり、ご来賓の安田大阪府総務部防災室消防救助課長様より知事祝辞、釜中大阪府議会議長様、大阪府下消防長会を代表して大阪府下消防長会衛星都市委員会伯井委員長様、(財)全国危険物安全協会有山主幹様より理事長祝辞をいただきました。

次に宮崎専務理事より、平成14年度事業概要等の報告が行なわれ大会を終了しました。

引き続き懇親会へと移行し、なごやかな雰囲気の中、閉会となりました。

なお、当日、参加者全員に、危険物安全運動の標語入消防ホース型ストラップ、冊子「危険物申請手続の要領」が配布されました。

第4回 危険物取扱者試験

2月9日(日)、府大で

(財)消防試験研究センター大阪府支部では、平成14年度第4回危険物取扱者試験を2月9日(日)、堺市の大阪府立大学で次のとおり実施します。

試験日	2月9日(日) ・乙種4類(午前・午後) ・甲種、4類以外の乙種、丙種(午後)
試験会場	大阪府立大学(堺市)
願書受付日	1月15日(水)、16日(木)、17日(金)
願書受付場所	(財)消防試験研究センター 大阪府支部 大阪市中央区谷町2-2-22、NSビル9F TEL06-6941-8430

※ 試験当日の会場集合時間は次のとおりです。

- ・午前……9時30分(試験開始10時より)
- ・午後……13時(試験開始13時30分より)

〔受験資格について〕

甲種

- ①高専・短大及び大学での化学に関する学科又は課程を卒業した者。
- ②高専・短大及び大学で化学の授業項目を15単位以上取得した者。
- ③乙種免状交付後2年以上の危険物取扱の実務経験者。

乙種

受験資格の制限はありません。

丙種

受験資格の制限はありません。

受験準備講習会受付は1月7日から

受験準備講習会は、甲種・乙種4類、丙種について大阪、堺、吹田など府下8会場で実施します。

また、講習会の受付は、1月7日(火)、吹田受付会場を皮切りに8会場で実施します。(詳細については8頁参照のこと)。

乙種4類土曜・日曜コースは電話予約を

乙種4類土曜コース(定員140)・日曜コース(定員70名)は、希望者が多数のため、電話予約による受付を実施しています。

受講希望者は、電話(06-6531-9717)で予約してください。(ただし、満席になり次第締切させていただきます。)

10月の試験結果

甲種48.3%、乙種4類38.4%

(財)消防試験研究センター大阪府支部では、平成14年度第2回危険物取扱者試験を10月6日、近畿大学(東大阪市)で実施しましたが、その結果が10月30日に発表がありました。試験区分別の合格率は、次のとおりです。

平成14年度第2回危険物取扱者試験結果

区分	受験者数	合格者数	合格率(%)
甲種	402	194	48.3%
乙種1類	103	74	71.8%
乙種2類	132	108	81.8%
乙種3類	94	57	60.6%
乙種4類	3,805	1,460	38.4%
乙種5類	145	128	88.3%
乙種6類	144	121	84.0%
丙種	1,006	731	72.7%

平成14年度
保安講習日程表(12月3日~15年2月17日)

◇一般の部			
回数	開催日時(予定)	会場	所在地又は最寄駅
54	12月3日(火)午後	大阪府商工会館	→
55	12月4日(水)午後	吹田メイシアター	阪急千里線・吹田駅
56	2月6日(木)午後	東大阪市民会館	近鉄奈良線・永和駅
57	2月7日(金)午後	茨木商工会議所	JR・阪急・茨木駅
58	2月10日(月)午後	東大阪市民会館	近鉄奈良線・永和駅
59	2月13日(木)午後	大阪府商工会館	地下鉄・本町駅
60	2月14日(金)午後*	堺市民会館	南海・高野線・堺駅
61	2月17日(月)午後	大阪府商工会館	地下鉄・本町駅

注1. 保安講習の講義時間は3時間です。

(開講時間は、講習会場によって若干異なります)

注2. 会場欄中*印の堺市民会館は駐車可。

(ただし、有料)

空調設備機器製造・販売

オイルタンク用液面計
遮断式警報ユニット液面計
各種液体タンク用液面計
フロートスイッチ・微圧スイッチ
タンク部品一式

独自の技術により、正確・安全
ローコストを追求する

GIKEN

TEL 06(6358)9467(代表)

株式会社技研

〒530-0043 大阪市北区天満4丁目11番8号 工技研ビル ☎6358-9467-8

安全への道 19

「安全文化とは」

三村 和男

今、「安全文化」という言葉は、あらゆる産業界で広まっている。安全文化についての定義はいろいろあるが、1991年、安全文化の定義に関する国際会議では次のように定義している。

「安全文化とは、組織の安全問題がなにものにも勝る優先度を持ち、その重要度を組織および個人がしっかりと認識し、それを原点とした思考・行動を、組織と個人が継続的かつ自主的に取ることができる行動体系である」。即ち、安全最優先の価値観とその実践である。

一方、最近では、およそ安全文化というにはほど遠い重大事故が多発している。東海村の臨界事故、原発設備における保全記録の改ざん、加工乳による集団食中毒、牛肉擬装問題は明らかに組織事故である。

今回は、企業における全ての人が夫々の持場、立場で、安全文化を構築していくためのあり方について、筆者なり考えている一端を述べてみたい。

1. 組織

経営者および全従業員が、安全問題について大きな関心を持ち、常に安全化を図り続けるための地道な努力を誇りとする組織風土の醸成が必要である。

2. 経営者

安全問題は、経営トップの姿勢が最も強い影響力がある。一人の従業員も怪我をさせなくてはならない責任と確固たる信念が必要。そして、そのことを目に見える形で支援し、さらに安全活動とその成果について適正な評価が必要。評価されないことについては、チャレンジしない。最近、ある大企業の課長が「あまり安全をいい過ぎると上位職にはつけない……」ともらしていたということを安全研究者から聞いた。残念だ。

3. 管理者

・安全の妙薬は、管理者が安全について大きな関心を持ち、創意工夫と卒先垂範することである。職場の

マンネリ化は、管理者自身のマンネリ化である。

- ・職場の安全意識レベルは、管理者の意識レベルで決まる。それ以上には上がらないだろう。部下は上司の姿勢を見抜き評価されないことにはチャレンジしない。
- ・現場の神話(本誌02・4月号で紹介したSPEC10^{セン})に惑わされず、現場をよく見て問題の本質を把握しなければならない。
- ・職場の小さなトラブル(危険)を大きく取りあげ、小さな成果を大きく評価して安全意識と意欲の向上を図る。安全対策のフォローアップが不十分であるため成功例とその活用がなされていない。
- ・体で覚えた貴重な現場ノウハウの共有化とその伝承が必要。このことは、モノづくりの現場では、重要課題の一つになっているが、マンパワー不足なのか今一つ進んでいないように思われる。あるセミナーで、管理者と思われる参加者から「リストラを考えるのか自分が持っているノウハウを他に教えたがらない傾向がある」との発言は印象的だった。(どんな職種かは言われなかった)

4. 設計技術者

- ・設計技術者は、先取り安全の先兵であることを認識し、安全に関する基本技術および最新技術を駆使した安全設計にさらなる努力が必要。
- ・ヒューマンエラー防止について、一層の関心を持ち、エラーの未然防止とバックアップについて設計面での配慮が必要。
- ・体で覚えた熟練の技と知識を持った作業員から学び、安全設計に生かす努力が必要。

5. 作業員

- ・設備、作業についての危険を正しく理解し、基本を忠実に実行できる。
- ・知識、経験に基づく優れた判断で、いかなる環境においても人間と機械の役割を崩さないで行動できる。
- ・常に旺盛なる問題意識を持って、職場の問題を発見し、自ら考え、積極的に安全提言できる。

このようなベテランを目指して欲しい。

まだ遠い道のりではあるが、安全文化がしっかり根づいた企業、社会の実現を望むものである。

平成13年度1月～12月の危険物関係事故事例(損害額1,000万円以上)

(消防庁:「平成13年中の主な事故事例」より)

火災・爆発

発生日	都道府県	施設区分	死傷者及び損害見積額	概要・原因・被害状況
1月	大阪府	無許可施設	死者 3名 負傷者 0名 4,140万円	金属製品塗装業で金属板に粉体及び塗装ブースで塗装中、一旦休憩し、再び作業を開始して直ぐに火災になったもの。この火災で、階段降り口付近で従業員3名が死亡した。原因は不明である。
2月	山形県	一般取扱所	死者 0名 負傷者 0名 1,129万円	脂肪酸工場鉄骨6階建てのうち3、4、5、6段部分及び脱臭塔、第4類動植物油類4,000リットル焼損。脱臭塔内部に飛散した油カス(ヨウ素価130)が塔内部の真空解除により酸素が供給され、更に脱臭塔の蓋6か所を開放したことにより酸化が促進され、この反応で酸化熱が蓄積され発火点に達し自然発火したものと推定される。
3月	大分県	一般取扱所	死者 0名 負傷者 1名 1,385万円	ビデオテープ製造中に、トルエンをステンレス容器に注油した際、静電気用アースの取り付けを怠った為、発生した静電気により、注油ホースのノズル付近で容器内のトルエンに引火、容器内の危険物及び周囲の機器を焼損したもの。なお、この火災によって当該従業員が手に火傷を負ったもの。
3月	大阪府	一般取扱所	死者 0名 負傷者 0名 6,723万円	一般取扱所の塗装ブースの自動ブース部分からの出火であり、事故当時、ロボットは故障に伴う確認運転中であり、塗装作業は中止していたが、何らかの原因により着火、火災が拡大し、自動ブース内の床、内壁、塗装ロボット等取扱物及びダクトの一部を焼損した。ロボットから飛ばされた静電気が、傍らに置いてあった洗浄用シンナー容器に帯電し、人体、他何らかのアース体との接触によりスパークし、洗浄用シンナー容器のペーパーに引火した。
4月	栃木県	一般取扱所 「焼入等」	死者 0名 負傷者 0名 1,800万円	水焼入処理後、熱交換器用の冷却水は常時流して排水槽に入り水中ポンプで排水処理をしていた。何らかの原因でポンプが停止し、排水槽の水が溢れて床面を流れ出し焼入層に入った。さらに油槽へ水が流入したため、各槽の液面が上昇し加熱炉焼入品投入ダンパー(800度)に接触したため、着火したものと推定される。
4月	東京都	一般取扱所 (油圧装置等)	死者 0名 負傷者 0名 1,908万円	産業廃棄物(鉄くず、廃棄プラスチック、紙等)中間処理業を営む一般取扱所内(建物全体で規制)に、夜間無人となってから何者かが侵入して集積してあった紙、ビニール等に放火したため、産業廃棄物及び一般取扱所が焼損したものである。なお、危険物(第4類第4石油類)への着火は認められない。
4月	埼玉県	一般取扱所 (消費)	死者 0名 負傷者 0名 1,465万円	乾燥炉(一般取扱所)の脱湿装置(生物製剤研究で発生する廃液及び洗浄水を乾燥する設備)において、乾燥物投入量と熱源の調整不良による過熱により乾燥物に着火したものの。この火災により乾燥炉及び建物を焼損した。
4月	大阪府	一般取扱所 (吹付塗装)	死者 0名 負傷者 1名 6,997万円	塗装工場において、静电塗装ラインにおいて、静电塗装機の静電気が燃料に引火し、施設部分が焼損したもの。この火災で、従業員が火煙を吸って負傷した。
5月	千葉県	製造所	死者 0名 負傷者 1名 2,860万円	印刷インキ製造機械周辺のインキ汚れを落とすため、酢酸エチルをプラスチック容器に小分けし、汚れた部分に少量垂らし金属ヘラで除去していた。このヘラに付いたインキ滓を溶かすために、プラスチック容器にヘラを入れて、酢酸エチルの小出し取り出し口下部へ持っていき、バルブ1・バルブ2の間に酢酸エチルをプラスチック容器に注入した瞬間に出火したものの。
5月	千葉県	一般取扱所	死者 0名 負傷者 1名 1,118万円	濃縮水溶液をドラム缶に移し替えた際、乾燥機内に空気が供給され、この空気と乾燥機内に残っていた水溶液から発生したと思われる可燃性蒸気が、燃焼範囲内の混合気を形成していたもの。一度処理した廃水溶液を再度受入ビットに投入したことにより、濃度の高い原料を再度乾燥機で濃縮したことにより、再濃縮しない物質に比較して可燃性蒸気の発生が多くなり、何らかの火源により発生したものと推定される。



YAMATO ROTEC
ヤマト・ロテック

かんじる しらせる けず
感知・通報・消火
・ヤマト



消防設備は、さまざまな危険物の
発生したとき、迅速に感知・通報・消火
機能を実現する。ヤマト・ロテックは
、最先端の技術で、さまざまな危険物の
発生を感知・通報・消火機能を実現する。
ヤマト・ロテックは、最先端の技術で、
さまざまな危険物の発生を感知・通報・
消火機能を実現する。

ヤマト・ロテック株式会社
 本社 千537-0001 大阪市東淀川区深江2-1-10 TEL: 06(6576-0701) 東京本社 千108-0071 東京都港区白金台5-17-2 TEL: 03(3446-7151) 札幌支社 千005-0001 札幌市東区南一条5-1-1 TEL: 011(837-1111)

5月	愛知県	製造所	死者 0名 負傷者 0名 1, 0 0 0 万円	焙煎ごまを搾油機で搾る工程で、残存していた粕が発火し、拡大延焼、搾油機、モーター及び電気設備が延焼したもの。ごま油製造所において、焙煎ごまの圧搾過程の搾油機荷付着残存した粕が自然発火したものと推定される。
6月	神奈川県	一般取扱所	死者 0名 負傷者 1名 3 1, 8 4 8 万円	排煙脱硫装置で冷却操作中に、装置内の温度が上昇し、緊急冷却用散水設備が自動起動したが、散水を継続すると脱硫塔底部の水酸化ナトリウム水溶液がオーバーフローするおそれがあるため、手動操作に切り替えて散水量を調整したところ、脱硫塔先の煙突から黒煙が上昇し、散水を全開にしたが火災に至ったもの。
6月	滋賀県	一般取扱所 (焼入)	死者 0名 負傷者 0名 2, 7 1 2 万円	焼却灰を融解するためのプラズマ電源を発生する装置において、総合制御盤内部にて火災が発生したガスに引火、爆発し、制御盤ボックスが破損した。スイッチの開閉状態を確認せずに通電したため本来流れないはずの電流が、カップリングフィルに長時間流れ、コイル温度が以上に上昇し、過熱され、爆発、火災に至ったもの。
7月	愛知県	製造所	死者 1名 負傷者 0名 1, 4 6 8 万円	閉鎖し無人状態となった製造所に、何者かが侵入し、調色容器の洗い場にてシンナーをペットボトルに移し替えていたところ、誤ってシンナー等に引火させたもの。
7月	和歌山県	一般取扱所	死者 0名 負傷者 0名 4, 2 8 4 万円	医薬品の中間体製造工程中において、最終工程の蒸留作業終了後、蒸留釜から残渣物を回収容器に抜き出し中、蒸留釜下部付近から火災が発生し、工場121平方メートルを焼損したもの。可燃性蒸気が低所に滞留し、無許可で設置していた非防爆型コンプレッサーの電気火花によって引火したものと推定される。
8月	栃木県	製造所	死者 0名 負傷者 0名 2, 1 5 4 万円	有機過酸化含有物を恒温恒湿内で20度に設定し保管していたが、何らかの原因により爆発、出火に至り、製造所の一部を焼損した。なお、事故時に従業員は不在であった。恒温恒湿室内に収納する際に、室内の空調のための空気吸い込み口付近に該物質を積んで保管していたこと、雷注意報が発令されており、工場周辺での電圧の低下が4回確認されていることなどから、恒温恒湿室内の空気循環不良、あるいは雷、若しくはその他の原因により恒温恒湿室の機能停止により室内の温度が上昇し、発火、爆発に至ったものと推定される。
9月	静岡県	一般取扱所 (消費)	死者 0名 負傷者 2名 1, 0 5 1 万円	グラビア印刷機において、危険物第4類第1石油類を空气中に暴露した状態で取り扱っており、このため静電気除去・防爆設備・排出設備等対策は施してあったが、管理不十分により、何らかの原因で静電気が発生し、ゴムローラー近傍からの静電気の火花が可燃性蒸気が着火し火災にいたったものと推定される。
9月	香川県	一般取扱所	死者 0名 負傷者 0名 3, 6 9 0 万円	試運転中、電解槽の電流を徐々に上げていき2000アンペアとした。その後3000アンペアに上げようとしたところ、水洗塔、脱水塔及びその付近の配管部分で爆発した。電解槽で発生させた電解ガスが配管を通り、水洗塔及び脱水塔に至る過程のどこかで水蒸ガスが何らかの原因で爆発したものと推定される。
10月	和歌山県	無許可	死者 0名 負傷者 0名 4, 8 9 0 万円	鉄骨2階建て、建築面積339平方メートル、延べ面積586平方メートルの作業場兼住宅建物の1階から出火し、同建物が全焼したもの。また作業所内には、指定数量以上の危険物第4類第1石油類(シンナー・インキ)が無許可で貯蔵されていたものである。
11月	滋賀県	一般取扱所	死者 0名 負傷者 0名 1 4, 0 0 0 万円	農業用資材工場で、1階のフィルム圧延機エンボス工程部分のから火災が発生。フィルム加熱用エレマー工程において、ライン上のフィルムがエレマーに落下若しくは付着して発火、直近の塩ビフィルムに延焼拡大し発災したものと推定される。
12月	愛知県	焼入れ等	死者 0名 負傷者 0名 2, 0 0 0 万円	定常運転中のボルトの焼入れ・焼戻し工程において、焼戻し炉と焼戻し油槽の間から出火したもの。焼戻し炉から焼戻し槽に製品を送る際、製品が焼戻し油に入る前に、防音のため硬質ゴムに当たる構造であった。常時安易に確認できる構造ではなく、機械設置後15年経過していたため、ゴムが炭化し発火しやすい状況であったと思われる。
12月	大阪府	一般取扱所	死者 0名 負傷者 1名 2, 0 0 0 万円	排水システム鋳物製造ラインのショットプラスト装置内にASジョイント鋳物を入れて間もなく、装置内の2室目で火災があがっているのを確認した。通常では当該鋳物が鋳造ラインより排出されて常温(約40度)になるまで4、5時間冷却してから装置内に入れるのであるが火災発生時はあまり間をおかず装置内に入れたことと鋳物が装置内の耐摩ゴムに接触し着火、火災に至ったものと推測される。

**時代をリードする
アクション&ハイテクノロジー**

SUPER GYRO LADDER ACT
先端屈折はしご車 MLJS4-30
高所等での消火・救助活動をサポートする
先端のはしごが屈折する両面的なはしご車

SUPER GYRO LADDER WT
水路付はしご車 MLGS4-30W
高所等での消火活動に威力を発揮する
大容量放水の水路付はしご車

MORITA

NEW KOMBINAT SYSTEM

大型高所放水車
MQA2-22

大型化学車
MC-BC

泡原液搬送車

『省力化合格機種』







〒544-8585 大阪市東淀川区小島4丁目5番20号
Tel 06-6756-0110 Fax 06-6754-3461
東京 大阪 名古屋 福岡 仙台 富山 松山

株式会社モリタ

12月	大阪府	無許可	死者 0名 負傷者 0名 2,709万円	移動タンク貯蔵所にて搬入したA重油を貯蔵タンクを介しオープン槽で活性炭、消石灰と混合。エアを用いて攪拌した後、フィルタープレス機により精製し、製品を貯蔵タンクに貯油する工程において、フィルタープレス機に至る送油ポンプの動力源である電動モーターの加熱によるモーター付近からの出火と推定した。A重油、活性炭、消石灰の混合物をフィルタープレスへ送り出すモーターポンプの加熱が原因と考えられる。
12月	香川県	一般取扱所	死者 0名 負傷者 0名 3,280万円	変更許可完成検査後、初めて施設を使用しての試験運転中であり、電解槽の電流を徐々に上げて300アンペアになった時に、電解槽1基の循環ポンプに異常があり、一基のみ通電を停めた。その後、2000アンペアに設定した後に洗浄塔、脱水槽及び配管部分で爆発した。電解槽で発生させた電解ガスが配管を通り、水洗塔及び脱水塔に至る過程のどこかで水素ガスが何らかの原因で爆発したものの。

漏えい

発生日	都道府県	施設区分	死傷者及び 損害見積額	概要・原因・被害状況
1月	神奈川県	移動タンク貯蔵所(単一車)	死者 0名 負傷者 1名 1,400万円	移動タンク貯蔵所が移送中、降雪により凍結した路面においてスリップにより道路側壁に衝突、横転し、タンク室5室のうち4室に亀裂が生じ、ガソリン約3500リットル、軽油約2500リットルが流出した。
1月	愛知県	屋外タンク貯蔵所(特定)	死者 0名 負傷者 0名 2,885万円	石油製品を貯蔵取扱う油槽所において、ポンプから漏えいした灯油がポンプ囲い及び油分分離槽をオーバーフローし、側壁、最終油分分離装置を経て海上へ流出した。降雪及び冷え込みがポンプケーシングの破損が原因と推定される。
3月	千葉県	移動タンク貯蔵所(被けん引式)	死者 1名 負傷者 0名 1,500万円	有料道路出口の繞り下りカーブでローリーが転覆し、当該タンクの側面に亀裂が生じたため、積載していた灯油が漏洩(約5キロリットル)した。：当該ローリーは被けん引式で、事故発生時灯油を20キロリットルを積載しており、転覆の際に第1、2、6室部分のタンク右側面に亀裂が生じた。
6月	新潟県	移動タンク貯蔵所(被けん引式)	死者 1名 負傷者 0名 1,577万円	移動タンク貯蔵所の運転手が危険物(ガソリン14キロリットル、軽油6キロリットル)を満載の状態で行く途中、高速道路インターチェンジの出口付近でガードレールを突き破り約3メートル転落した。その際第1室、第6室、第7室の側板が破損し、亀裂及び穴からガソリン10.2キロリットル軽油5.9キロリットルが流出した。
11月	愛知県	移動タンク貯蔵所(単一車)	死者 0名 負傷者 1名 1,931万円	移動タンク貯蔵所が、県道を走行中に大型トラックの後方に衝突した。その際、タンク本体の鏡板の一部が損傷し、タンク第1室に貯蔵していたガソリン4キロリットルのうち、約2キロリットルが漏えいした。

その他

発生日	都道府県	施設区分	死傷者及び 損害見積額	概要・原因・被害状況
2月	埼玉県	移動タンク貯蔵所(被けん引式)	死者 0名 負傷者 3名 1,000万円	移動タンク貯蔵所にて軽油を仕入に行く途中、交差点にて普通自動車と接触し、民家へ突入した事故。：なお、移動タンク貯蔵所の車両については、タンク内は、空の状態、キャビンの破損のみでタンクには、破損がない。
8月	鹿児島県	給油取扱所(船舶)	死者 0名 負傷者 0名 50,000万円	台風接近により、港内に高波がおしよせ浮桟橋(船舶高速船の乗船場)と共に附随設備の油槽所が使用していた船舶給油取扱所が水没した。
9月	神奈川県	屋外タンク貯蔵所	死者 0名 負傷者 0名 1,500万円	屋外タンク貯蔵所からアクリロニトリルをタンク付属のポンプにより桟橋へ移送し船積みしたところ、当該タンクの側板が内側方向へ変形した。なお、タンク側板は変形が生じたものの、亀裂には至らず内部液は漏えいしなかった。圧力調整弁が十分に開かず、タンクへの窒素供給量が不足したこと、タンクに接続する窒素配管が負圧になったことにより発生した。

お好きな色を…!

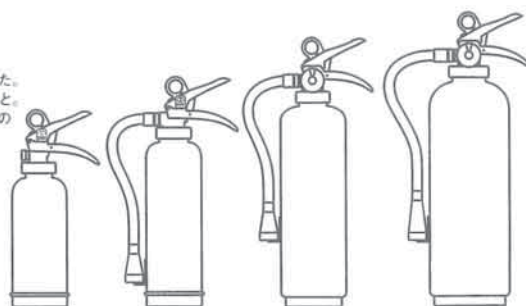
お客様の声をカタチにできるプランナーを目指します。

おかげ様で100年の長きにわたり消火器・消火設備の総合メーカーとして歩むことができました。長い歩みを振り返り、私たちが考える将来の企業像は「もっとお客様に近い会社」であること。謙虚な気持ちで原点に立ち戻り、お客様のニーズに合った商品開発・ご提案を通じて、社会の利益に貢献したいと考えています。

HATSUTA

株式会社 初田製作所

本社 〒573-1132 大阪府枚方市田原田道3-5 TEL (072) 856-1281
東京支社 〒140-0013 東京都品川区南大井2-9-3 TEL (03) 5471-7411
関西支社 〒555-0013 大阪府西淀川区千舟1-5-47 TEL (06) 6473-4870



平成15年度 危険物安全週間 推進標語の募集

主催 消防庁／都道府県／市町村／全国消防長会／財全国危険物安全協会

危険物の保安に対する意識の高揚と啓発を推進するため毎年6月の第2週は危険物安全週間とされています。

この週間の行事を推進するため、危険物災害の防止と危険物の貯蔵・取扱いの安全を呼びかける標語を募集します。最優秀作は危険物安全週間推進ポスターに活用します。

平成15年度ポスターモデルは、NHK大河ドラマ「武蔵MUSASHI」のヒロインを演じる女優の米倉涼子さんを予定しています。

応募方法 郵便ハガキまたはインターネットによるものとします。

・郵便はがき応募の場合は、1枚につき、標語1点とします。郵便番号・住所・氏名(ふりがな)年齢・性別・職業・電話番号を必ずご明記下さい。

*郵便はがき以外での応募や記入事項に不備がある場合は無効とします。
インターネット応募の場合は、財全国危険物安全協会ホームページ(下記あて先参照)をご覧ください。応募作品は未発表のものに限ります。

応募資格 特に制限はありません。

締 切 平成14年12月16日(月)必着

選考方法 関係行政機関・学識経験者等による標語審査委員会の厳正な審査によって行います。

- 賞**
- 最優秀作 1点 消防庁長官賞と副賞 20万円
 - 優秀作 1点 全国危険物安全協会 理事長賞と副賞10万円
 - 優良作 10点 記念品

*入選された場合はご本人に通知するとともに、消防庁及び財全国危険物安全協会のホームページ・関係新聞・機関誌等に発表いたします。

なお、入選作品の著作権は主催者に帰属するものとします。

あて先 〒105 東京都港区虎ノ門2丁目9番16号-0001

日本消防会館5階
財全国危険物安全協会内
危険物安全週間推進協議会

☎03-3597-8393

(ホームページアドレス)
<http://www.zenkikyo.or.jp>

〈過去の推進標語〉

平成2年度	“まさか”より“もしも”で守ろう 危険物
3年度	危険物いつも本番待ったなし
4年度	心・技・知・危険物には真勝利勝負
5年度	危険物その時その場が正念場
6年度	一瞬のすきも許さぬ 危険物
7年度	確実な 攻守がきめての 危険物
8年度	危険物 むき合う心 いざ集中
9年度	気を抜くな 扱う相手は 危険物
10年度	安全は 日々の気持ちの 積み重ね
11年度	危険物 一手先読む 確かな点検
12年度	危険物 守りのかなめは 保守点検
13年度	危険物 めざすゴールは 無災害
14年度	危険物 小さな油断も イエローカード

*一般公募は平成2年度から実施しています。



危険物取扱者準備講習 ご案内

平成14年度第4回危険物取扱者試験実施に際し、受験者予備知識向上のため、次のとおり受験準備講習会を開催いたします。

1. 日時・会場

種別	講習日	時間	会場
甲種	1月20日(月)、1月21日(火)、1月27日(月)	9時30分～16時	大阪府商工会館 (地下鉄 本町駅17号出口スグ)
乙種 4類	1コース	1月21日(火)、1月22日(水)	大阪府商工会館
	2コース	1月27日(月)、1月28日(火)	大阪府商工会館
	3コース	1月29日(水)、1月30日(木)	堺市民会館 (南海高野線 堺東駅ヨリ 8分)
	4コース	1月23日(木)、1月24日(金)	吹田市勤労者会館 (JR吹田駅ヨリ 5分)
	土曜コース	1月18日(土)、1月25日(土)	大阪府商工会館
	日曜コース	1月19日(日)、1月26日(日)	大阪科学技術センター (地下鉄四つ橋線 本町駅ヨリ 5分)
丙種	2月4日(火)	9時30分～16時30分	大阪府商工会館

(注) 甲種は3日間、乙種(1コース～4コース)と土曜・日曜コースは2日間で1コースです。

2. 受付場所と受付日時

- ① 四ツ橋ビル以外は、本会より各所に係員が出張して受付しますので、時間内をお願いします。
- ② 各受付場所とも、各講習会場の受付数を割り当てていますので、満席の際は受付ができませんからご了承下さい。
- ③ 申し込み手続きは代理でも結構です。

受付場所		日時
吹田市消防本部内 (JR・阪急・吹田駅より8分)	吹田市危険物安全協会	1月7日(火) 午後1:30～4:00
東大阪市西消防署内 (近鉄・小阪駅北へ6分)	東大阪市西防火協力会	1月8日(水) 午前10:00～11:30
守口消防署 (地下鉄守口駅前)	守口門真防火協会	1月8日(水) 午後2:00～4:00
豊中市消防本部内 (阪急宝塚線・豊中駅より南へ5分)	豊中防火安全協会	1月9日(木) 午前10:00～11:30
茨木市消防本部内 (JR・阪急・茨木駅より13分)	茨木市災害予防協会	1月9日(木) 午後2:00～4:00
岸和田市消防本部内 (南海・岸和田駅より西へ10分)	岸和田市火災予防協会	1月10日(金) 午前10:00～11:30
堺市高石市消防本部内 (南海・湊駅北へ6分・大浜南町)	堺市高石市防災協会連合会	1月10日(金) 午後2:00～4:00
四ツ橋ビル8階 (地下鉄・四ツ橋駅北出口2号)	(財)大阪府危険物安全協会	1月14日(火) 3日間とも
		1月15日(水) 午前9:30～午後4:30
		1月16日(木) ただし、正午から40分異量休み

3. 土曜・日曜コースの申込方法

土曜コース(定員140名)・日曜コース(定員70名)は電話(06-6531-9717)で予約受付、定員に達し次第締切。

4. 講習料

テキスト不要の場合は、甲種・乙種、各2,000円割引(テキストは平成14年度用改訂版を使用)

種別	会員	会員外
甲種	16,800円	18,900円
乙種	12,600円	14,700円
乙種・土曜コース	13,650円	15,750円
乙種・日曜コース	14,700円	16,800円
丙種	6,300円	7,350円